

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>・授業の質向上を目指し、主体的かつ対話的な学びを意識した授業を算数科を中心に実施した。主体的な学びを実現するために、授業の導入と終末での工夫や、対話的な学びを実現するためのクラスやグループでのリレー説明等の効果的な指導を職員で共有し、実践できた。今後も授業の質の向上を目指し、取り組みたい。</p> <p>・読書量については、図書館教育の創意工夫した実践により、増加傾向にある。しかし、保護者からの評価は低い傾向にあった。今後、さらに地域ボランティアと協力する等、読書量を増やす効果的な実践を継続する必要がある。</p> <p>・学校教育目標の柱の一つである「あたたかい」子どもの育成は、自己肯定感の向上、感謝・思いやりの心の醸成、暖かい挨拶の奨励を重点的に行うことができ、保護者からの評価も高かった。さらに、実践を継続し、自己肯定感を高め、自分に自信をもたせていきたい。</p>
2 学校教育目標	「つよく」「かしこく」「あたたかい」子どもの育成 ～自ら考え動く～
3 本年度の重点目標	<p>①「学力向上」→算数科を中心に、「楽しく、面白い」「わかる」授業、そして「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現を目指しながら、学力の向上を図る。</p> <p>②「心の教育」→児童の自己肯定感を高める活動を通して、自尊感情を高める。また、授業や学校行事等の教育活動において、「元気なあいさつ」「やさしい言葉づかい」の徹底した指導を行う。さらに、道徳教育や人権教育を通して心の教育の充実を図る。</p>

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・学力向上対策シートを用いた研修を年3回行う。 ・全国及び県の学力・学習状況調査の結果の共有、改善のための職員研修を行う。							学力向上対策コーディネーター	
	○「主体的・対話的で深い学び」を実現した楽しい授業の実践	○授業に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上	・昨年度取り組んだ「どの子も意欲的に授業に参加するための手立て」を取り入れた授業を全職員で行う。記述力の向上を目指す単元を設定し、問い方やGW、CWの在り方を研究する。							学習部	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上	・年間を通して、「自己肯定感の高まりから自他への思いやり」につながる人権集会を数回設定する。 ・道徳に関するアンケートを実施する。							道徳教育推進教師 人権・同和教育担当者	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等について、組織的な対応ができていると回答した教員100%	・毎月1回、いじめの早期発見につながるアンケートを実施する。 ・毎週1回、気になる児童の情報共有の時間を設定する。							生活指導部	
	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力しようとしたと回答した児童 80 %以上	・授業や学校行事等を通して、児童が夢や目標について自ら考える時間を設ける。 ・活動の見通しやふりかえりの時間を設け、活動の価値づけを行う。							特別活動部	
●健康・体づくり	次の中から1つ以上を選択「運動習慣の改善や定着化」「安全に関する資質・能力の育成」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒%以上(小学校60%以上、中学校80%以上の数値で学校の実情に応じて設定) ②児童の交通事故を0(ゼロ)にする	・長縄や竹馬など、児童の活動意欲を高めるための場や道具を準備する。 ・休み時間に取り組みたくなるようなチャレンジコーナーを作り、掲示する。 ・年間を通して、地域の方々とともに、職員も輪番で交通挨拶指導を行い、児童の安全意識を高める。 ・学年の実態に応じた交通安全教室を計画し、実施する。							①保健体育部 ②生活指導部	
	○体力の向上	○運動に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上	・体育委員会によるチャレンジコーナーやジョギングタイム等を設定するとともに、「さがんキッズスポーツチャレンジ」を推奨する。							保健体育部	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間の上限を遵守する。 ・時間外勤務…1か月について45時間未満 ・時間外勤務…1年について360時間未満	・定時退勤日を設定する。 ・月曜日～木曜日の最終勤務時間の自己申告を行う。 ・必要な会議、連絡会は計画的に設定する。							管理職	
	○業務改善への意識の向上	○1年間で業務改善を3つ以上行う。	・業務改善についての職員研修を行う。 ・若手職員に業務の効率化につながる研修を行う。							管理職	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○特別支援教育の充実	○教員の特別支援教育への意識の向上と支援のあり方の理解	○特別な支援が必要な児童への支援のあり方が理解できた、またはだいたい理解できた教員100%	・特別支援教育に関する研修会を年に5回実施する。 ・校内教育支援委員会を通して、情報共有を行う。							特別支援教育コーディネーター	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
--------------------	----------------------------